

平成26年 6月 6日  
千葉大学医学部附属病院

## 千葉県で初の脳死肝移植を実施し、無事終了

今後の脳死肝移植に道筋を示す

6月6日（金）、千葉大学医学部附属病院（病院長 山本修一 千葉市中央区亥鼻1-8-1）は、千葉県では初となる脳死肝移植を実施し、無事終了しました。

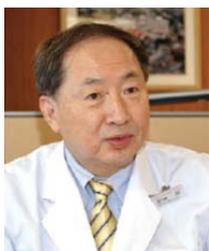
今回の移植手術は、50代男性に対して行われたところであるが、男性は劇症肝炎で当院に搬送され、肝萎縮が著明であり改善の兆候が見られなかったため、肝移植の適応が妥当と判断されていました。

臓器提供は日本臓器移植ネットワークを通じて行われ、肝臓は、大阪府立急性期・総合医療センターで摘出されました。

移植手術は宮崎 勝 教授（肝胆膵外科）が中心となり、本日無事終了しました。

現在、患者さんはICUにおいて24時間体制で監視しておりますが、容態は安定しています。

### <宮崎 勝 教授（肝胆膵外科）のコメント>



今回の脳死肝移植は、本院だけでなく、千葉県でも初の取り組みとなったが、無事に手術が終了し安堵している。今後も患者さんの容態を注視し、回復に向けて万全を尽くしたい。

また、ドナー（臓器提供者）となっていたいただいた患者さんに感謝を申し上げるとともに、今後も患者さん（提供する側も受ける側も）を第一に考えた医療を実践していきたい。

本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学医学部附属病院  
肝胆膵外科 講師 大塚 将之  
Tel:043-222-7171  
E-mail:otsuka-m@faculty.chiba-u.jp

取材に関するお問い合わせ先  
千葉大学医学部附属病院  
総務課 広報係 下條、渡辺、三村  
Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830  
E-mail : xae6025@office.chiba-u.jp